



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 12 月 16 日 (18:00~19:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4 人	10 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画	職員が家族に電話や連絡帳・メールを通して要望や苦情・不安などを聞くことができるようになる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・家族から連絡帳に要望などが来るようになった。 ・ケアマネを通した要望が多かったが、直接家族から要望を聞くことができるようになった。 ・要望が聞けるようになり、本人や家族の思いが職員間で話し合う機会を持つことがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	⑨	1	0	14
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	⑦	1	0	14
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	⑧	0	0	14
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	⑨	1	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職員も小規模での経験を重ねることにより、本人や家族への声掛けが出来るようになった。 ・利用開始時の声掛けが「ここは明るい人多いね」と言ってもらえるようになった。 ・利用開始時には泣かれた方や帰宅願望の方もいたが、今は逆に帰宅を寂しがる人もいる。 ・職員から家族へケアマネを通さず電話・メールができるようになり、家族から職員の顔が見えるようになったと思う。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始が急に決まることがあり、利用者のニーズを把握できずにいる。 ・小規模多機能型居宅介護の利用者に対するサービスが、一人一人異なっており把握することが難しい。 ・利用者の日によって異なる送迎時間や日々持ち帰るものが多いことによる、忘れ物が多いこと。 ・日替わりリーダーによる連絡帳の見落とし、又は情報発信忘れにより家族からの要望が忘れられた事によって苦情があったりする。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅と事業所の行き来が多い利用者のチェック表を作成し、送迎時に確認することによって忘れ物をなくす。/・通常の利用者の予定表とは別に、急遽利用の予定表を作成。日替わりリーダーを中心に確認し送迎の遅れをなくし、忘れ物がないようにする。/・管理者・ケアマネ・介護主任との間でチャットを設け、家族からの連絡などはすぐに書き込み、お互いで情報を共有する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月16日(18:00~19:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	8人	1人	0人	14人

前回の改善計画	ミーティングで日々の報告・連絡形式だけでなく、職員間で介護技術や医療の基礎的知識を取り入れることにより、利用者の自己実現に繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受けたり、容態が悪い利用者を多職種連携により情報共有することにより、自宅に帰って家族と過ごすという「家に帰って過ごしたい」ことを実現した。 ・利用者は食事をこれまでの生活に合わせた時間に摂取したいとの思いに、職員間で話し合いを行い、調理時間を調整して作って提供するなど対応した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3	⑦	4	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	⑨	2	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	⑦	4	0	14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	⑥	5	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の訴えを聞くことができたので、目標を知ることができた。また家族との会話からも利用者の思いを知り、職員間で共有できた。 ・利用者に職員のおいしい食事を食べて欲しいとの思いと、日頃から「おいしいご飯が食べたい」と話す利用者との思いから、ワンランクアップし食事を提供した。 ・おいしい食事を提供できたことで、食材発注の仕方の変更など工夫できた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・目の前の仕事に追われ、本人の目標を知ることができなかった。結果的に振り返ることもできずにいた。/・深く考えすぎてしまった。逆に相手が喜んでくれることを率先して行うことでもよかったのかなと感じた。/・ミーティングで利用者へこう行動したことで喜んだということをもっと伝えあっていたら、振り返りまでできたと思った。良かった点を喜べるようになればと思う。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・当面の目標にかかわる為においしい食事を提供できるようにする。利用者にも何が食べたいか具体的に確認し、日をおかないように早めに提供できるようにする。 ・おいしい食事を提供できたか振り返りを行い、次のテーマでは自分たちが利用者の為にすぐできる事を発見する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 12 月 16 日 (18:00~19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	8 人	1 人	0 人	14 人

前回の改善計画	利用者の思いを「言語化」してみる。 「利用者の叫ぶような声」＝「排泄」の訴えであり、トイレへ誘導する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・「言語化」によって職員間で共通認識ができ、すぐに排泄へ誘導するなど行動を起こすことができた。 ・同じように別の利用者の行動に対して「言語化」したことで、看護師による医療的ケアを行うことがあり良い結果があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	5	⑦	2	0	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	⑧	6	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	⑨	3	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	⑪	3	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	⑨	4	1	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・長く継続されている利用者に関しては、日頃の介護や家族との会話などから本人の生活環境などを理解できるようになった。/ ・日頃の清掃・拭き掃除などから気づきが生まれ、施設では利用者の身なりや周辺などを清潔に保つことができた。同じように不衛生な自宅の訪問では、毎回全職員でたくさんのごみを処分するなど片付けもできている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・誰もが同じ介護を利用者に提供できるには、まだ至っていない。トライ中。/ ・シャワーチェアを使った入浴を利用者は希望されるが、看護処置などもありストレッチャー浴になってしまっていることが本人の思いとは違う方向になってしまっている。/ ・本人の現在のADLから一部介助と思われるものを、以前と同じく見守りをしてしまい、転倒させてしまった。体調の変化に支援ができてなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・ミーティングで気になる利用者があった場合、その最善の介護法など話し合う。 ・ストレッチャー浴の利用者がシャワーチェアで入浴ができるようになっている。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月16日(18:00~19:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	1人	0人	14人

前回の改善計画	<p>利用者の周りにはたくさんのサービスを行っている方たちがいることに気づき、日頃から積極的に挨拶し情報を共有することで支援を行う。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・自事業所を併用するサービスの担当者と利用者に対して地域で関わる人に関しての情報共有し、自宅での生活を支えるために適宜電話での報告・連絡を行った。地域の方は両事業所に関わってくださった。利用者の在宅での生活を助けて支えてもらっている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	5	⑧	1	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	⑧	3	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	4	⑧	2	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	⑦	5	0	14

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先に管理者やケアマネが近隣の住民や商店に挨拶を行い、職員も日頃から挨拶を行うようにしている。買い物の付き添いも行い、近隣が支えてくれる支援を行っている。 ・自事業所を利用していない時間に併用している事業所などを把握できるようになってきた。 ・利用者が徘徊してしまい帰宅困難になったときに、尋ねるべき人・場所などを情報共有できるようになった。/・利用者家族が近隣の高齢者を紹介し、事業所でも関係性がある。
--------	--

できていない点	<p>200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所近隣の民生員は把握しているが、泊地区などのような離れた地域の民生員を把握していない。 ・利用者の自宅を訪ねて来た方がいたが、誰だか分らなかった。どちら様ですかと聞けなかった。 ・利用者の地域の商店などは知っていたが、本人に確認したことがなく利用していたことがわからなかった。 ・利用した経緯がわからないことが、利用者への支援の関りにすぐに結びつかない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・利用者が活用する小規模以外のサービス(認知症ケアや福祉用具など)の把握を全員ができるようにする。小規模は利用の仕方が一人一人異なる為、なぜこの時間に送迎するのか、なぜ認知症ケアや福祉用具を利用しているのか等を把握し、地域での暮らしの支援ができるようになる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月16日(18:00~19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	4人	0人	14人

前回の改善計画
職員全員「本人に望ましい支援」を一つ提案できるようになる。

前回の改善計画に対する取組み結果
・ミーティングや定例会で利用者について何度も話しあってきたが、提案を出せたかはわからない。
・独居の利用者に発熱があったときなど、宿泊してもらい様子観察することができたのは良かった。
・コロナ感染拡大時に、通いから訪問または宿泊に切り替えて対応したのも良かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	5	⑥	3	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	⑩	3	1	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	⑨	4	1	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	⑦	6	1	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・コロナ感染拡大時に、通いから訪問または宿泊に切り替えて対応した。
・自宅を出ると帰宅困難な方を宿泊して本人が落ち着く状態まで宿泊してもらったり、夜間に保護されて受け入れ先として宿泊してもらうなどの対応をとった。
・病院受診後も通いを利用していただいたり、30分だけの通い利用などもあった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者のADLのわずかな変化に気付かず、転倒させてしまった。いつもと同じ状態という思い込みがあった。/
・利用者一人一人の予定が細かすぎて覚えられない。利用の変更があって迎えを忘れてたり、自宅との行き帰りで持ち物が多く忘れ物があった。/
・利用者やその家族の希望に合わせてサービスを提供することは、全て出来ているわけではない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・定期的な利用の表と、非定期的利用の表を作成し、忘れ物やミスなどを少なくする。
・グループチャットを作り、伝え忘れをなくする。
・リーダーはミーティングで連絡帳の家族からの要望を必ず伝える。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 12 月 16 日 (18:00~19:30)

6. 連携・協働

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	8 人	1 人	0 人	14 人

前回の改善計画
その他のサービス機関との相談を介護職もできるようになる。

前回の改善計画に対する取組み結果
・福祉用具と連携し、ノーリフトの取り組みを行い利用者にあった車椅子の調整や使用、スライディングボードの正しい使い方などに取り組んでいる。
・併用する認知症ケアの職員にも利用者の状態やお互いの事業所での様子を確認しあっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	4	⑧	2	0	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	⑦	5	0	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	⑥	⑥	1	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	⑨	4	1	0	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者やその家族、地域の包括支援センターと相談し、現状の報告を行い情報共有し、利用者にとって安全・安心に暮らせることに努めている。利用者によっては自治体も含めた話し合いも行っている。
・必要な利用者には家族・訪問診療・訪問看護・福祉用具も含めた話し合いを行い、その日の体調に合わせた介護を実践している。
・ウィズコロナになり近隣の保育園児も利用者との交流も行えるようになってきた。感染防止の為距離をとって1階駐車場で練習してきた演技を見せてもらったり、励ましの手紙をもらったり、逆に利用者からプレゼントを渡したり、様々な交流で職員含め元気ももらっている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域のイベントはあまり参加することがないが、建物廻りのイルミネーションなどの環境整備の作業中に声掛けを頂くことはある。/・その他のサービス機関との会議が一部の人が参加している。情報は共有している。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・ウィズコロナの中近隣保育園とのつながりを絶やさず、今後も交流できるようにする。そして何らかの形で職員全員が関わられるようになる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月16日(18:00~19:30)

7. 運営

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	5人	3人	1人	14人

前回の改善計画
 前回より継続：協働した取り組みの為、地域自治会の毎週水曜日の空き缶回収の協力の為、職員が家庭から持ち寄る。

前回の改善計画に対する取組み結果
 全員に声掛けをした結果、何らかの形で空き缶回収に協力できた。出来ていないと思った職員も事業所で出た空き缶は水洗いするなどを行っており、協力はしていることが分かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	2	⑩	2	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	⑧	2	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	⑦	5	0	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	⑥	5	1	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・定例会の議題を事前に各人の意見をまとめて出して、みんなで話し合いを持っている。
- ・苦情があれば、ミーティング等ですぐに話し合い、次は起こさないつもりで行っている。
- ・建物周りの環境整備では感謝の言葉をもらうことがあり、続けていくことが大事だと思う。
- ・地域の困っている人がいれば、地域と連携し積極的に出向いて、多くの人とつながりを持ってもらうようにしている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者一人一人の予定が異なる為、お迎えを忘れてしまったり、持ち物の忘れ物をしてしまい、苦情に繋がっている。同じことを何回か繰り返してしまうことがあった。
- ・現場での対応で地域に出向くことができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・地域の困っている人がいれば、どのような形であれ、みんなで協力し合っつながりを持ってもらう。
 ※職員が事業所にいながら、どのようにして地域の困っている人と関わっているのか再確認する。
- ・地域自治会への空き缶回収の協力は継続して行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 12 月 16 日 (18 : 00~19 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 11 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	7 人	3 人	0 人	14 人

前回の改善計画	リスクマネジメントに取り組むため、問題があれば課題を取り上げ知識・技術的に評価しアセスメントしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・寄宮改善活動チームを結成。利用者が安全・安心に介助を受けられ、職員も腰部への負担軽減のために活動する。1. テーマ選定・2. 現状把握・3. 目標設定・4. 活動計画・5. 要因の分析・6. 対策の検討と実施・7. 効果の確認・8. 標準化と管理の定着・9. 反省と今後の課題 と計画を立て現在も実施中である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	⑨	⑤	0	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	⑨	0	0	14
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	0	⑪	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	⑨	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・色々な研修に参加できている。職場の講習を受け、ケアマネ試験も 1 名合格者が出た。 ・喀痰吸引等研修に参加し、1 名が取得・1 名が実地研修中。 ・研修後の職員間での情報共有ができている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域連絡会に参加できていないというのが最多だった。就業後では難しい部分がある。 ・喀痰吸引等研修に参加ができなかった。次回には参加したい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・寄宮改善活動チームの取り組みを最後まで実践する。 ・研修には全員参加し、その後の研修内容を職員間で情報共有する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月16日(18:00~19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 11人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	6人	4人	1人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「身体拘束・虐待」の(オンライン)研修を受け、原因と対策を知る。 ・成年後見人制度のフィードバックを定例会で行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・「身体拘束・虐待」の研修を受け、職場でそのようなことがないよう実践している。 ・成年後見人制度のフィードバックを定例会で行った。誰がその制度を利用して、今後のライフステージの変化の時に活用できるということを理解した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	⑪	3	0	0	14
②	虐待は行われていない	⑫	2	0	0	14
③	プライバシーが守られている	⑩	4	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	⑧	5	1	0	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	⑦	5	2	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・身体的虐待の恐れのある家族に対して、市・包括支援センター・関係機関と連携して、なんとか虐待を防いでいたが、最終的に施設入所になることで、家族の負担がなくなり利用者を守ることができた。 ・成年後見制度を利用した利用者として契約するにあたり、通常なら契約が困難な方と思われたが、制度利用していたこともあり、すぐに契約ができサービスの提供ができた。 ・必要な方に成年後見制度を活用している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の仕組みを忘れてしまいそう。 ・本人から了承は得たが、利用者が多い時に部屋が足りず、お昼寝の時間に相部屋にしてしまった。 ・使用中のトイレの中を確認に来た他の利用者がドアを開けてしまったり、ストレッチャー浴の利用者はシャワーチェアでの入浴が希望だが、看護処置の為に利用せざるを得ない場合がある。 ・虐待の恐れのある家族と一緒に在宅で過ごすことは、再発の恐れがあり本当に難しいと感じた。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
継続：・「身体拘束・虐待」の(オンライン)研修を受け、原因と対策を知る ・電子カルテの記録で不適切な文言が無いか、4カ月に1回程度で確認する。 ※方法は抜き打ちとし、一定の期間を設け実施する。	